

挑 戦 か が く の

P R O G R A M

13:00-13:05 開会挨拶

東京大学 佐藤 守俊

13:05-13:40

腸内環境に基づく層別化医療・ヘルスケアがもたらす未来

腸管内に生息する腸内細菌叢(腸内フローラ)は、食品などを栄養素や機能性成分に分解することでわれわれの健康維持や疾患予防に重要な役割を果たしています。腸内フローラを構成する細菌の種類や分布は個人間で異なり、この違いがわれわれの健康維持や疾患予防に果たす役割と、新しい治療技術の創出に向けた取り組みを紹介します。

慶應義塾大学 特任教授

株式会社メタジェン 代表取締役社長CEO 福田 真嗣



13:45-14:20

カーボンニュートラル社会を実現するペロブスカイト太陽電池

ペロブスカイト太陽電池は、フィルム基板などに材料のインクを塗って作製でき、軽くて曲がる形状を持ちながら、発電特性にも優れた次世代太陽電池として期待を集めています。本講演では、この太陽電池を「どこでも電源®」として広く社会実装するために、大学とベンチャー企業が協働して取り組んでいる開発研究の最前線を紹介しします。

京都大学 教授 若宮 淳志



14:25-15:00

小惑星リュウグウの声に耳をすませて

探査機「はやぶさ2」が持ち帰った小惑星リュウグウのサンプルの分析が世界中の研究者によって進められました。リュウグウの石の分析から、太陽系の起源や進化について、なにがわかったのか、また新たにどのような謎がうまれたのかについてお話します。

東京大学 教授 橘 省吾



15:05-15:40

ナノカーレース2 優勝

2022年3月にフランスの南西部に位置するトゥールーズにある研究所で世界最小レース・ナノカーレース2が開催された。有機化学で作ったナノメートルサイズの分子を「車」とみなして、今日のナノサイエンスを支える走査型トンネル顕微鏡を使って、24時間走らせ続けた。優勝までの軌跡や研究とのつながりをご紹介します。

物質・材料研究機構 グループリーダー 川井 茂樹



日本化学会では、一般市民の方々を対象とする恒例の「市民公開講座」を企画しました。今回も私たちの生活に密接に関連した身近な話題を、専門の先生方にやさしくお話していただきます。どの先生もそれぞれの分野で活躍の著名な先生方ですので、楽しんでいただける半日になると思います。奮ってご参加下さい。

2023
3.25 SAT
13:00-15:40

ハイブリッド開催 参加費無料

現地会場

東京理科大学
野田キャンパス
13号館1311教室

アクセス 東部アーバンパークライン
「運河駅」から徒歩約12分

オンライン

Zoom

主催

公益社団法人日本化学会
第103春季年会実行委員会

お申込みはコチラから

春季年会HPより
お申込みください。

